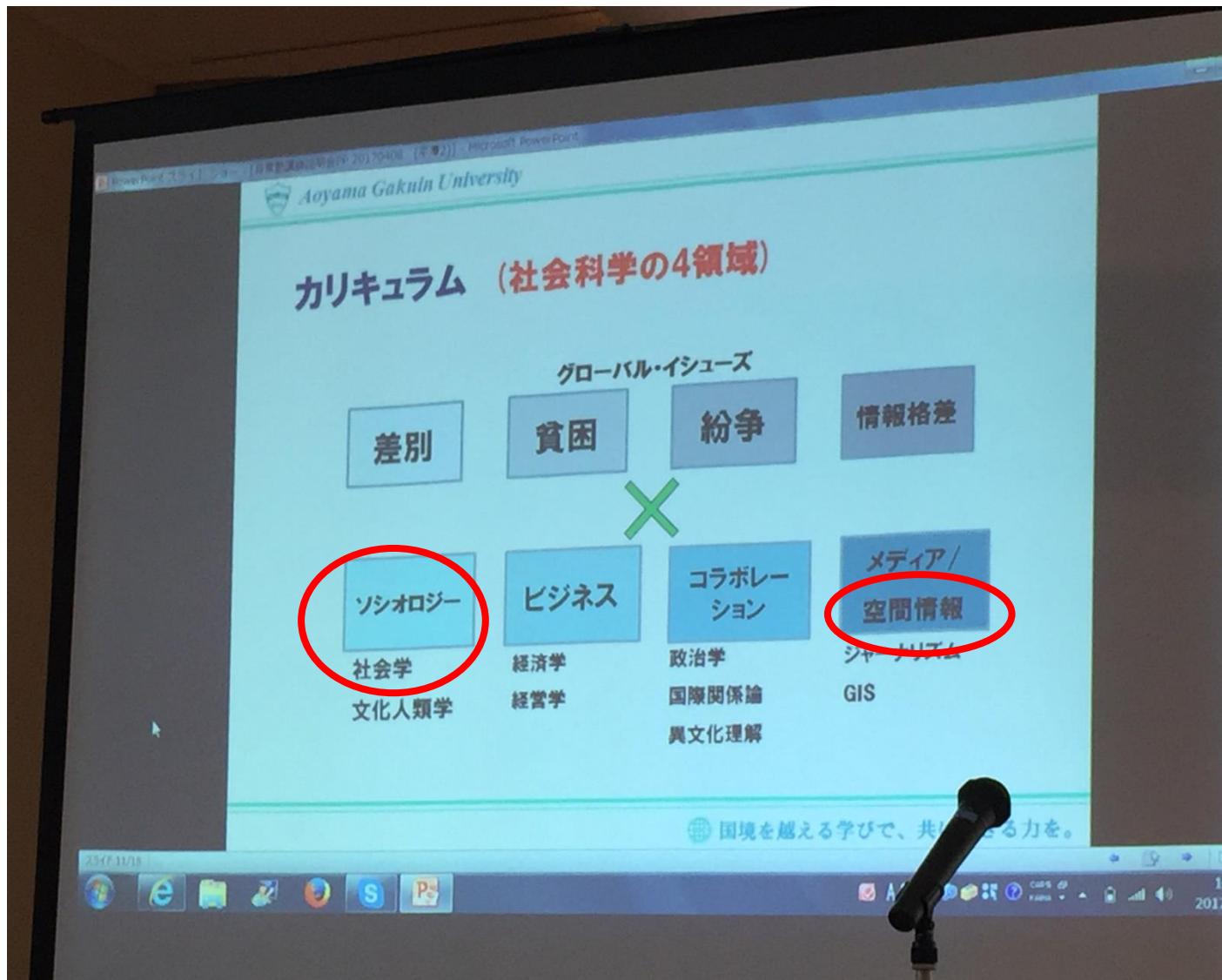


Applied Spatial Information Science III: An Introduction to Community Security Checks Using “Kiki-Gaki Map”

#14: Conclusions and Future Prospects

Yutaka HARADA
National Research Institute of Police Science

Looking Back: Orientation for Part-time Lecturers: “Four Areas of Social Sciences”



April 8, 2017, @Building G, 2nd Floor Cafeteria

An Illustration of Delinquent Development

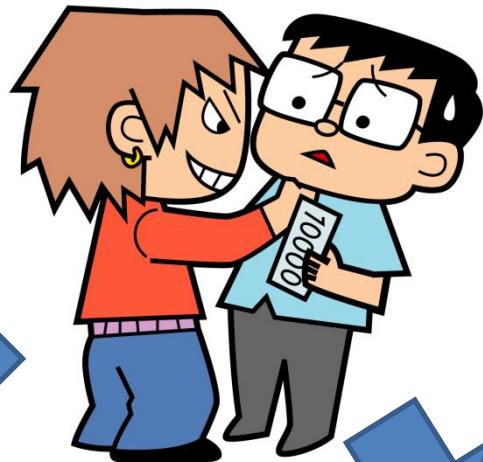


Bicycle Theft



Shoplifting

Escalation to More
Serious Offenses



だしこくたー、



Basic Concept of Situational Crime Prevention: “Opportunity Makes Crime”: 「機会が犯罪を作る」



Ordinary Crime Occurs When ...
「しめしめ、チャンスだ」



Crime Can be Prevented by Reducing “Opportunities”



#03: “Basic Plan for the Advancement of Utilizing Geospatial Information”

地理空間情報活用推進基本計画

また、GISの活用により、犯罪を未然に予防し、被害の拡大を防止するため、犯罪の時空間的な集積・変化の分析手法、犯罪抑止対策の評価手法、防犯活動の支援手法の開発を行うなど、事案対処手法の高度化・防犯活動の支援を促進する。

平成 29 年 3 月 24 日

望に応じて、被災後の初動対応・応急対策活動、復旧・復興等に資する地理空間情報を迅速に提供し、その情報を円滑かつ効果的に関係機関等が活用できるように支援を行う。

(2) 安全・安心で質の高い暮らしの実現

我々の生活を安全・安心で質の高いものとするため、モバイル端末の普及とモノ、ヒト、コトのデジタル化が加速することを踏まえ、住民の身近なサービス分野における利便性の向上を図る。

具体的には、自動走行技術の活用による高齢者・障害者等へのモビリティ向上サービス、屋内外の測位環境の整備による高齢者等の移動支援、位置情報の活用による高度な見守りサービスやコミュニティバスの運営による買物サービス、運動量と健康との関係を明らかにすることにより運動を促すサービス等を実現する。

また、GISの活用により、犯罪を未然に予防し、被害の拡大を防止するため、犯罪の時空間的な集積・変化の分析手法、犯罪抑止対策の評価手法、防犯活動の支援手法の開発を行うなど、事案対処手法の高度化・防犯活動の支援を促進する。

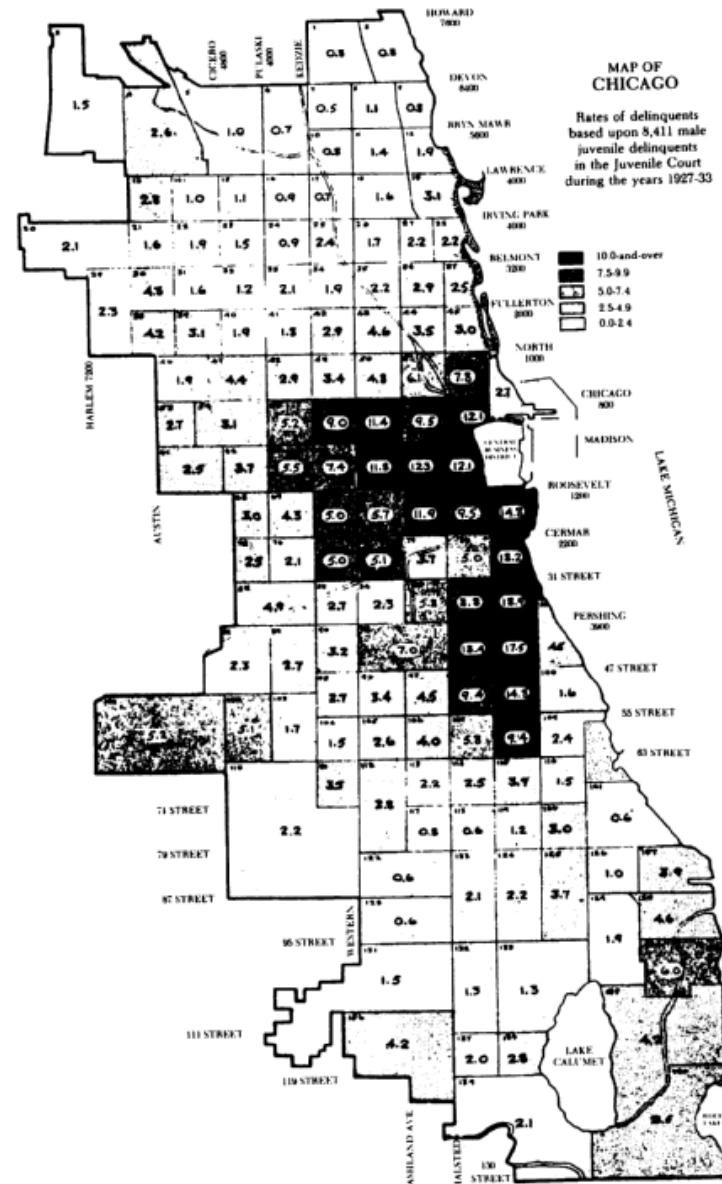
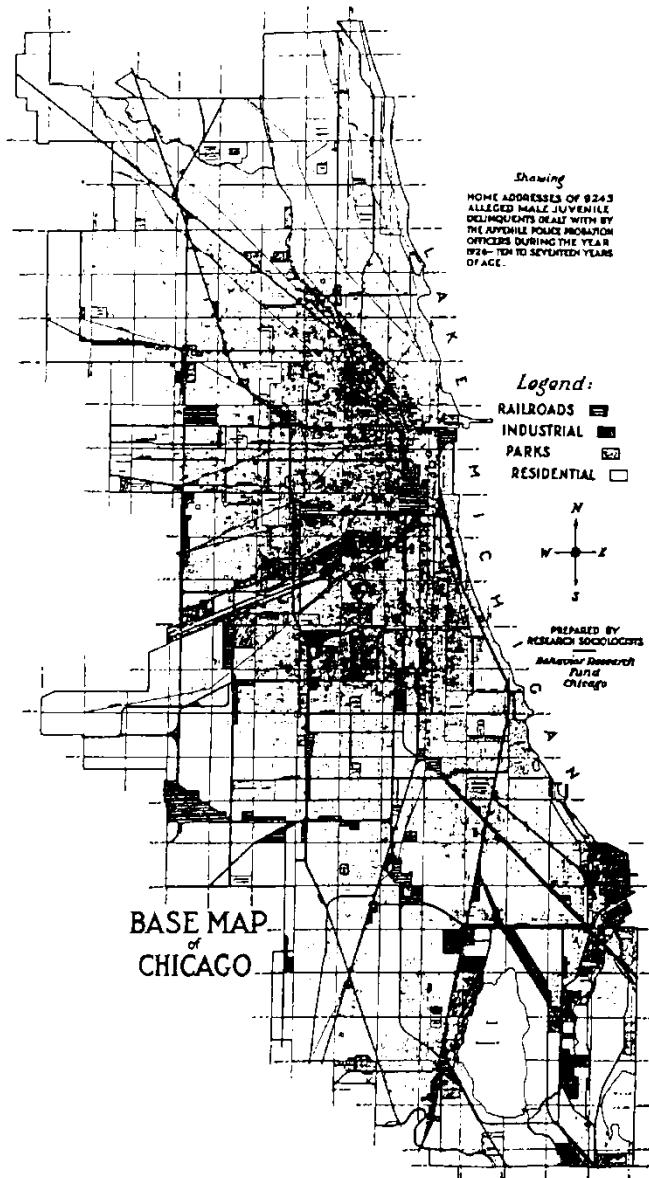
(3) 行政の効率化・高度化の推進

行政の効率化・高度化や新サービスの提供による経済活性化等を図るために、国

内閣府は、各府省庁が連携して開発・構築する統合データベース「統計データバンク」を活用して、防災減災等のデータの収集・分析・利用を促進する。また、産官学が連携し、各府省が保有する地域統計データ等を提供する「統計 GIS」を充実させ、地方公共団体における防災計画や都市計画等の策定事務への統計データの公的利用を促進する。G 空間情報センターや地域経済分析システム（RESAS）等を通じた地理空間情報の活用のための支援やコンサルティングサービスの普及を促進し、地理空間情報の取扱いや活用に不慣れで、元来、地理空間情報となじみの薄い分野の利用者であっても、その活用が可能となるような支援体制を構築する。

さらに、地方公共団体等の実施する公共測量について、無人航空機などの新たな測量技術を活用して一層の効率化を図るために、技術的支援の実施、技術マニュ

The Chicago School: "Ecological Studies of Crime"

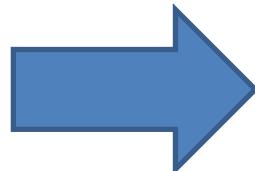


Shaw and Myers (1929)

Shaw and McKay (1969)

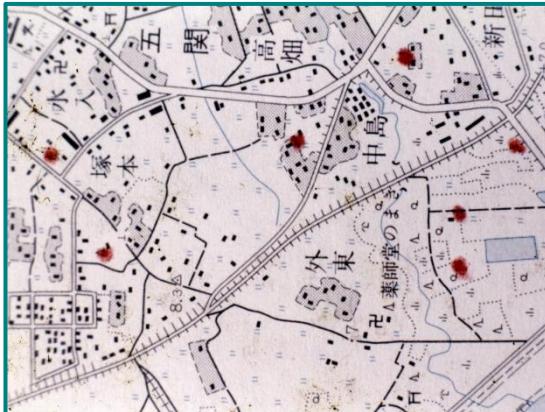
#03: Implications for Field Workers:

- From Film Camera to Digital Camera



- From Paper Maps to Satellite Positioning (such as GPS):

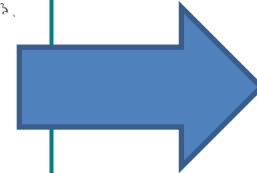
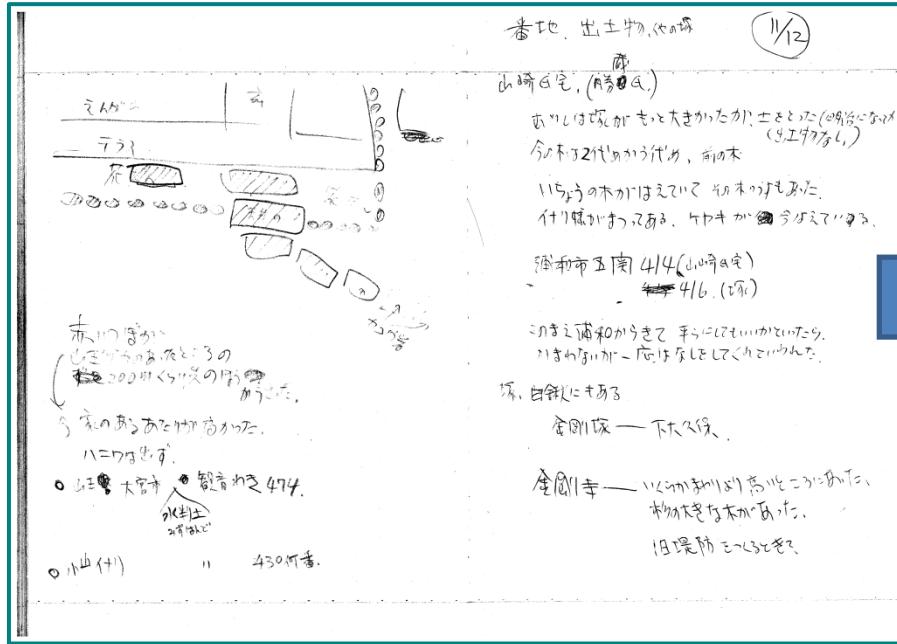
- ▶ Automatically determines the location at 1-second interval.



Implications for Field Workers:

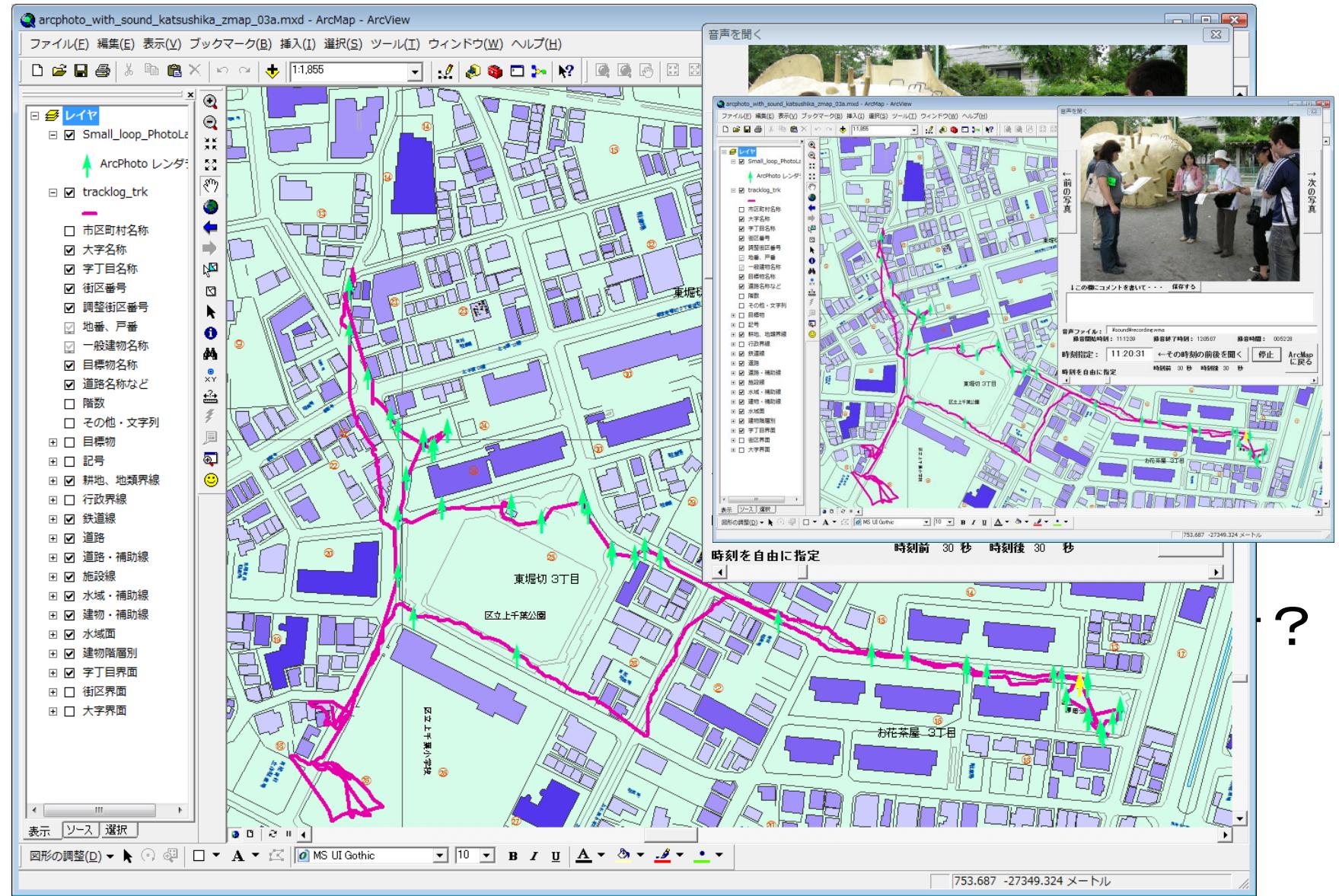
- From Hand-written Notes to IC Recording

- ▶ Highly effective in recording verbal (or qualitative) information in detail.



- Recent Developments in Spatial Information Science and Technology Have Provided an Effortless Way to Combine Visual and Verbal/Narrative (= Qualitative) Data with Geospatial (=Quantitative) Data.

Can We Provide the Field with What's Needed?



Latest Concept: “Participatory GIS”

- A Trend toward “Neo-Geology” and “Citizen Science.”
- Made Possible Thanks to New Developments in ...
 - ▶ Open Data
 - ▶ Open Source



#04: The Idea of “Preventive Criminology” (预防犯罪学)

- Preventive Criminology...

- ▶ is an area of study in criminology that
- ▶ aims at preventing victimization of criminal offenses
- ▶ seeks effective measures for achieving the goals
- ▶ through comprehensive, systematic and empirical research

☆ a coined term (造語) of Harada: 2012/04/13 (Friday)

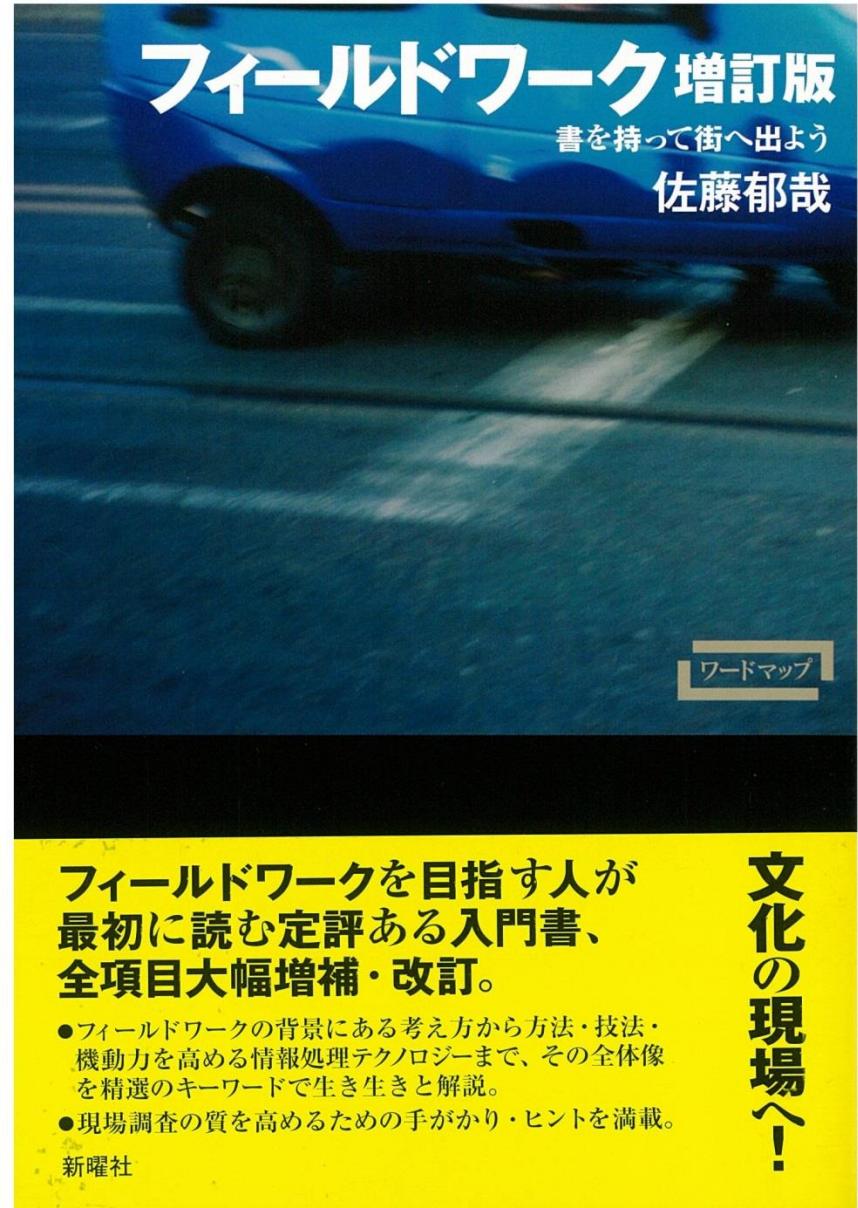
- Characteristics of Preventive Criminology:

- ▶ Focus on pragmatic approach: NO “commentators!”
- ▶ Focus on the prevention of victimization: Arrest won’t make victims happy!
- ▶ Bridge research and practice
- ▶ Model after “preventive medicine”
- ▶ But beware of crime-specific aspects:
 - ▶ The existence of “offenders” with malicious intent

#05: “Strategic Triangulation”

・「方法論的複眼」

- ▶ 「裏を取る」
- ▶ 「個々の調査技法がもつ強みと弱点について認識したうえで、それぞれの技法の弱点を補強しあうとともに、調書をより有効に生かしていこうという発想」



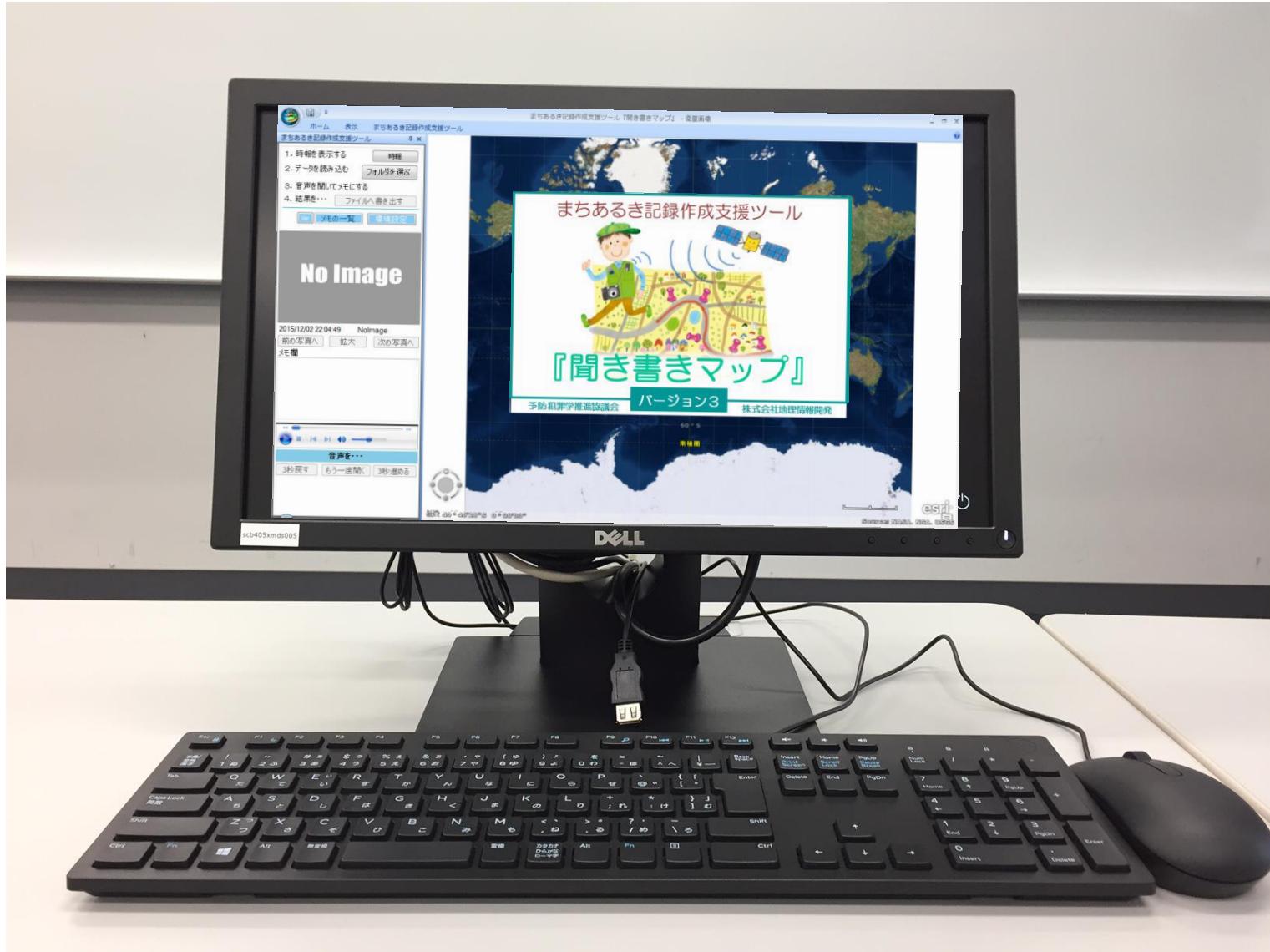
Source: 佐藤郁哉『フィールドワーク: 書を持って街へ出よう(増訂版)』新曜社(2006)

Tips/Lessons:

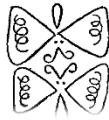
- Record your “Everyday Life”
 - ▶ Life in NON-native country is worth recording in itself.
 - ▶ Compare your own “taken for granted” with local residents’ “taken for granted.”
 - ▶ Ask them how/why they do/think so.
- Let local residents serve as the guides
 - ▶ Eg. local researchers (as in the “Back of the Yards” tour)
 - ▶ Eg. local volunteers (as in Kanazawa, Mukoujima)
- Make friends with the librarian, etc. of your Department
 - ▶ Eg. for a different view from what is said in mass media, etc.
(as was the case for the “Italian Market” of Philadelphia)
- Make the most of whatever resources you have
 - ▶ University libraries are treasures of such information resources
 - ▶ Not only books, but also newspapers, microfilms, and more...

#06: News!

- KGM has been installed on B405 PCs!



#07～: Critiques



『文学研究』
29巻4号(1987)

ロッキーが走った町



『文学研究』
29巻4号(1987)



- 調査した方法が細かく書かれている。地図などの資料も。
- (映画)ロッキーは…見てみる価値がある。
- 文の構成と言葉のチョイスなどで飽きずに読めた。図や写真も。

ケストラの名前を思い出されるかもしれません
えへ

一度訪れたチャンスを辛苦の末に勝ち取る
といふ。いわば典型的なアメリカン。ドリー

ケストラの名前を思い出されるかもしれません
えへ

一度訪れたチャンスを辛苦の末に勝ち取る
といふ。いわば典型的なアメリカン。ドリー

- 最後の「空振り」を、はじめの方に書くと理解しやすい。
- フィラデルフィアの人口と日本との比較のイメージがわきにくい。
- 句点が少なかったので少し分かりづらかった。
- 「1度は警察に補導された経験」をもっと具体的に。
- 「東」は川だけではないはず。その治安は？ 北東部は？
- イタリア系は家族との結びつきが強い？ でもロッキーは1人暮らしで、恋人アドリアンは兄と二人で住んでいる。

#8～: Own Fieldworks + Discussions



#09: A Model Project of MEXT (2015～) (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)

防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業

(新規)

27年度概算要求額

###,###千円

趣旨・背景

我が国においては、東日本大震災及び台風・集中豪雨等による自然災害、登下校中の子供が巻き込まれる交通事故、さらには、学校内外における不審者による子供の安全を脅かす事件などが数多く発生している。これらの教訓を踏まえ、

- 児童生徒等自身に安全を守るために力を身に付けさせる安全教育の充実
- 児童生徒等の生活の場である学校の安全管理体制の充実

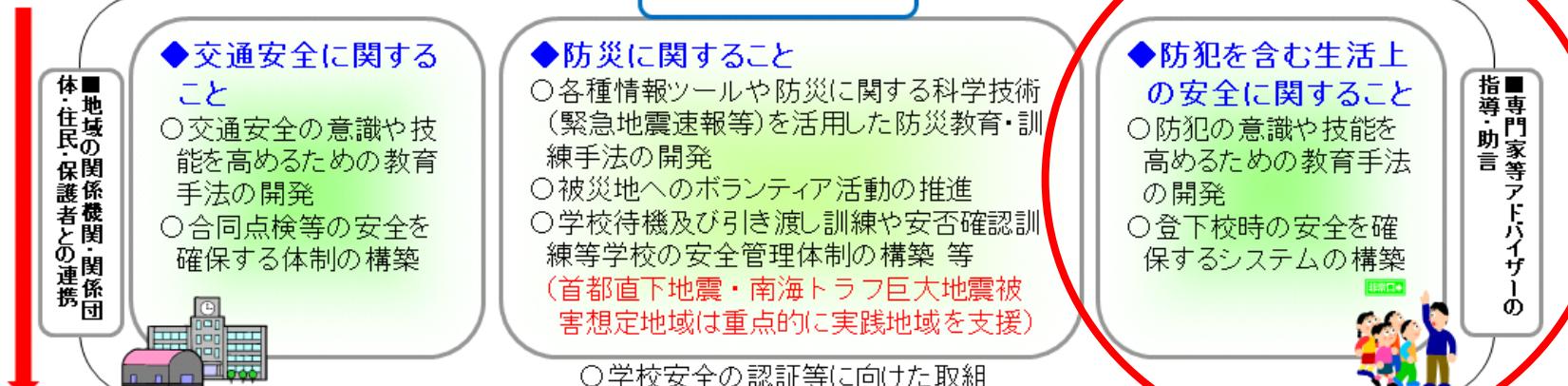
事業概要・イメージ

地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、次のこととに積極的に取り組む地域や学校を支援する。

- 「自らの命を守り抜こうとする主体的に行動する態度」「安全で安心な社会づくりに貢献する意識」等を育成する教育手法の開発
- 学校の安全管理体制や地域住民・保護者・関係機関との連携体制の構築

文部科学省

都道府県教育委員会等
■実践地域・学校の指定



■成果発表会の開催等による普及

■ポータルサイトの立ち上げによる全国での情報共有

成果

- 優良な実践事例の学校及び学校の設置者による共有
- 四角形の領域切り取り(R)
- 学校及び地方公共団体等による取組の増加
- 全国的な防災教育を中心とした安全教育の質の向上

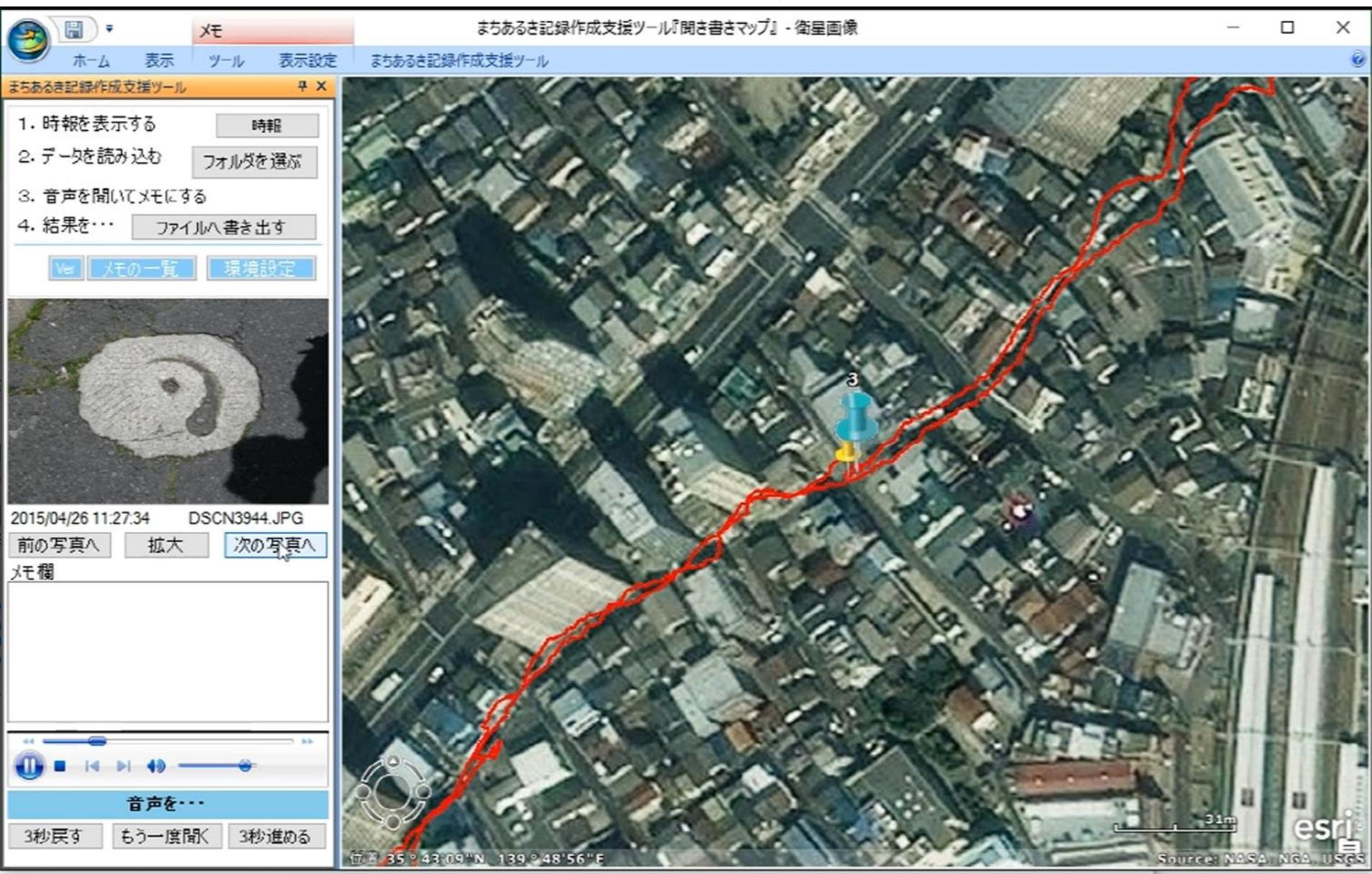
What's Done by Fourth-year Students (2)



Source: KGM Records by Group 13 (2016/11/04)

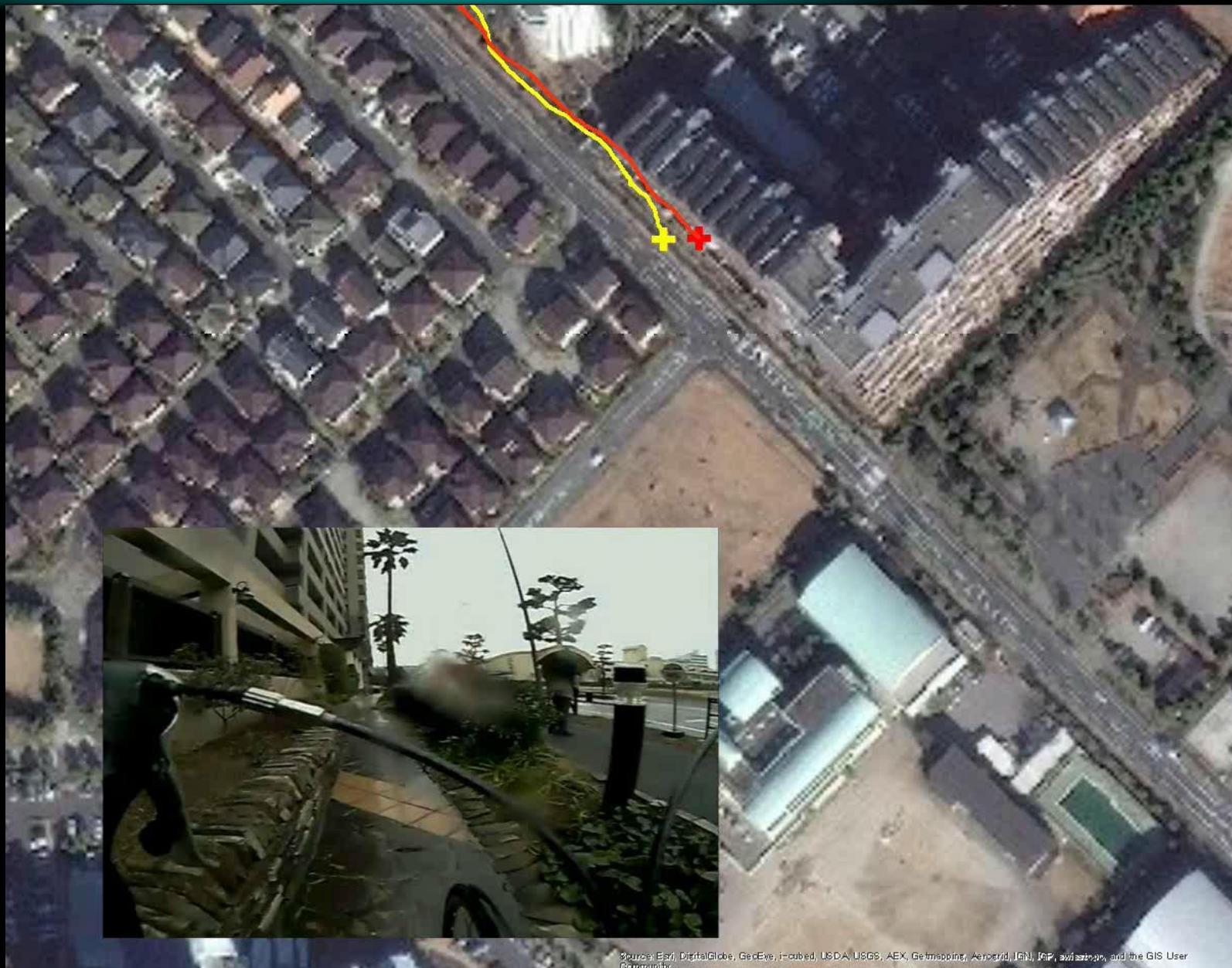
#11: Cooperating with Volunteer Tour Guides

“Association of Mukojima Studies”



比較実験結果を視覚化

赤線: 準天頂衛星利用、
黄線: GPSのみ



#13: 改良版「子どもの被害の前兆的調査」用帳票(1)

カルテ(表面)

出席番号シールをはる

危険なできごとカルテ

9999900001



※小学校入学以来に体験したできごとに1度ごとに1枚のカルテを使用してください
※家族・先生・小学生からされたことは除いてください

① 危険なできごとがあったのはいつですか? (□に数字記入) 4 年生の 7 月ころ ← 忘れた、わからない

② そのできごとは、どんなものでしたか? (ひとつに□) ア



- (無理に) 物やお金を取られた (取られそうになった)



- たたかれた (されそうになった)



- (いっしょに遊ぼう) 「家に来ないか」「荷物を持ってあけるから、いっしょに行こう」と誘われた車に乗ってみないと誘われた家の人が乗気だからいっしょに行こうなどと誘われた



- あとをつけられた、こわいことを言われた



- いやらしいことをされた (されそうになつた)



- (知らないうちに) 物やお金を取られた



- そのほか

マークの記入例 □



カルテ(裏面)

9999900001



④ それがあったのは何時ごろですか? (ひとつに□) オモテ面から	午前 5 時ころ	午前 5 時ころ	← 忘れた、わからない
⑤ その日は学校のある日、ない日のどちらでしたか? (ひとつに□)	ある日	ない日	← 忘れた、わからない
⑥ そのとき、お子さんは何をしていましたか? (ひとつに□)	登校中だった	駐車場・駐輪場	校庭
	下校中だった	公園	雑木林
	遊びでいた	駅	空き地
	<input checked="" type="checkbox"/> 学校以外の場所への行き帰りだった	地下道(街)	神社や寺
	そのほか ()	マンション・団地の廊下(ろうか)やエレベーターなど	田畠
		倉庫・工場	その他 ()
		← 忘れた、わからない	
⑧ そのとき、お子さんはだれかといっしょでしたか? (ひとつに□)	はい	いいえ	← 忘れた、わからない
	だれといいましたか? (あてはまるものすべてに□)	友だち	きょうだい
		家族の大人	家族以外の大人
		そのほか ()	
⑩ そのとき、お子さんはどうしましたか? (あてはまるものすべてに□)	何もしなかった (できなかつた)	やめて言った	← 忘れた、わからない
	大声で掛けを呼んだ	走って逃げた	
	<input checked="" type="checkbox"/> 防犯ブザーやベルを鳴らした	防犯ブザーやベルを鳴らした	
	そのほか ()	← 忘れた、わからない	
⑪ できごとを聞いたとき、保護者の方はどなたに連絡しましたか? (あてはまるものすべてに□)	担任の先生など、学校の人	近所の人	PTAの人
	警察の人	自分の親や親族	誰にも連絡・相談しなかった
	<input checked="" type="checkbox"/> 今回初めて知った	← 忘れた、わからない	
⑫ できごとのあった場所は、もうった地図のなかに含まれていますか? (ひとつに□)	はい	いいえ	(含まれている場合) 地図上の、できごとのあった場所に、「●」のシールを、貼ってください。
⑬ そのほか、このできごとについて、何でも自由に書いてください。			



9999900001



9999900001

改良版 「子どもの被害の前兆的調査」用帳票(2)

・回答用地図

- ▶ 電子国土基本図から作成
- ▶ 右上余白のQRコードに、地図の右上隅・左下隅の位置座標(世界測地系緯度経度)を記録

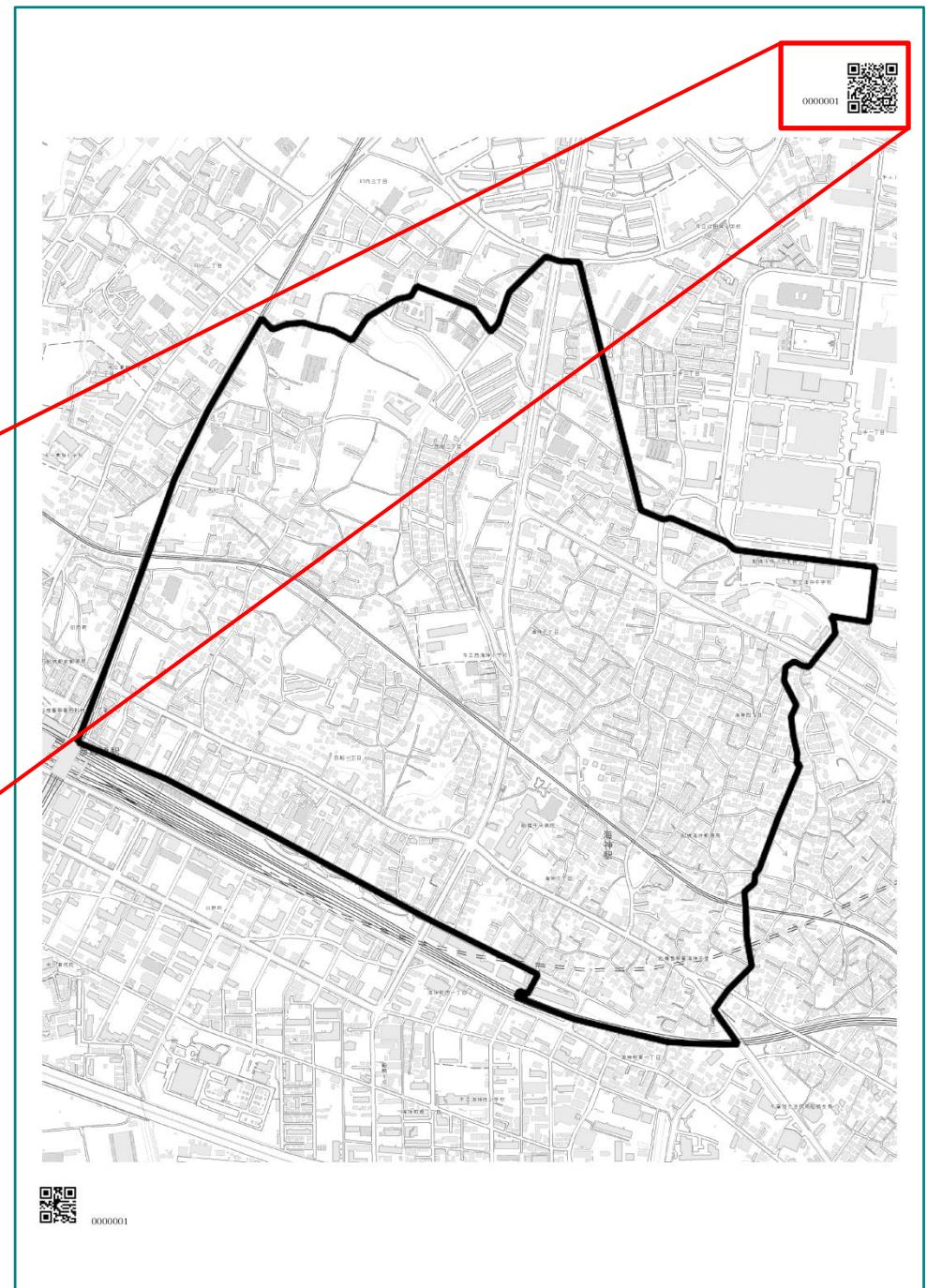
0000001



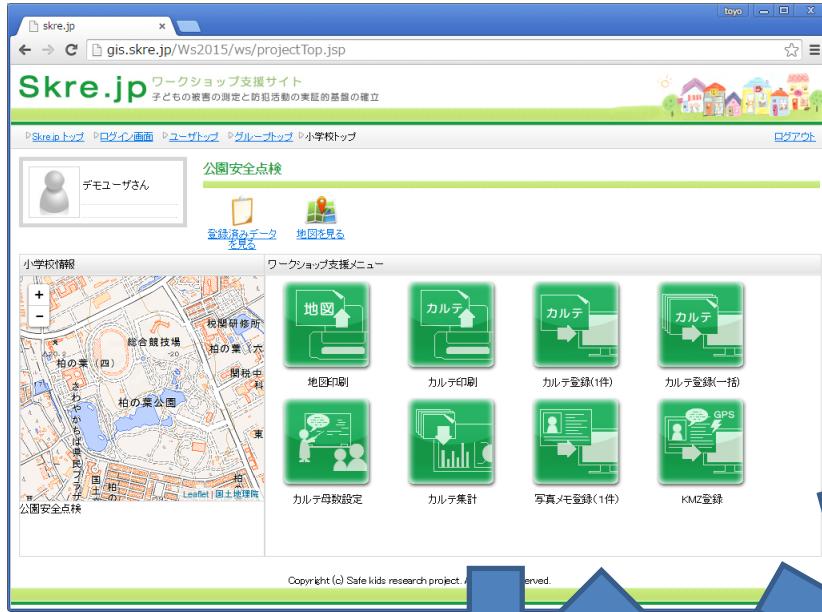
001FRRT139.958965,
35.718517,139.978121,35.699830

・●シールを貼ることで、 事案発生地点を回答

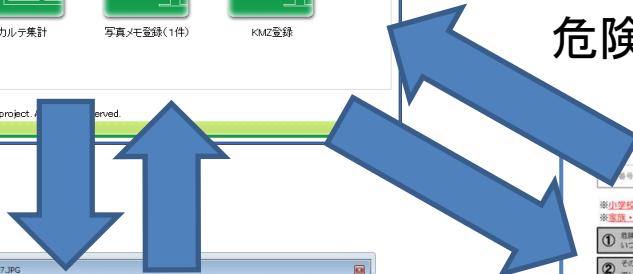
- ▶ 重心点を緯度経度座標として自動認識



今後の展望：「統合ツールキット」化



聞き書きマップ



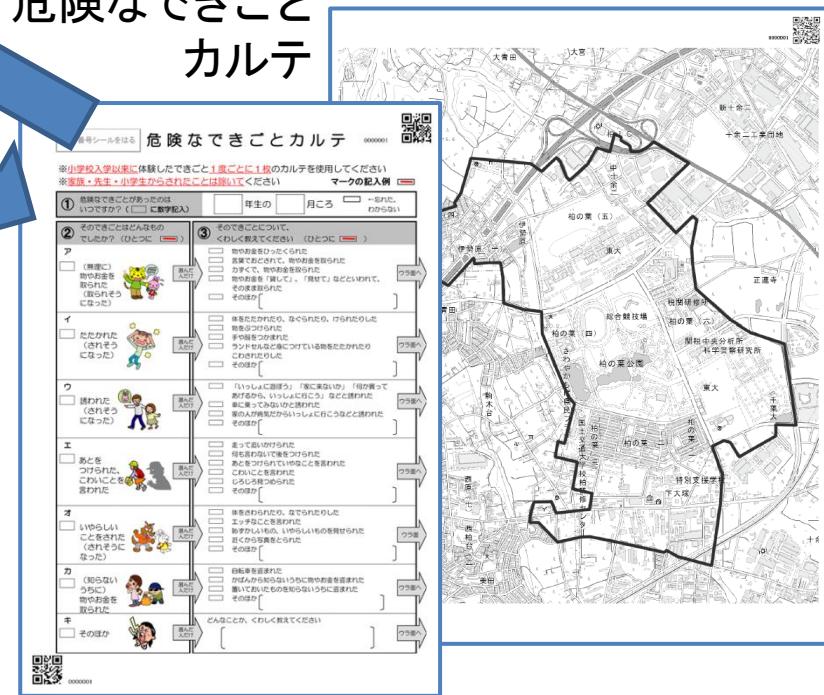
IC



「危険なできごとカルテ」や「聞き書きマップ」などが緊密に連携した、「子どもの被害防止ツールキット」を構成

活動現場の実情に即し、実用性と持続可能性を高める

危険なできごと カルテ



「科学が支える子どもの被害防止」の将来イメージ

保護者・自主防犯組織



防犯ボランティア・NPO



現地調査



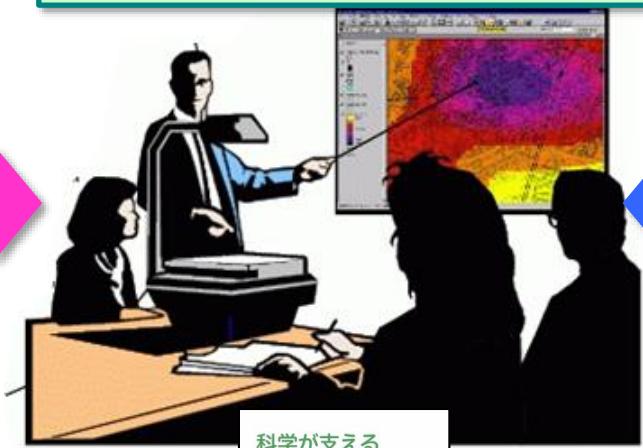
『聞き書きマップ』

研究成果
公開サイト



危険なできごとカルテ

関係者の連携による 科学的・合理的対策の推進



基礎データ

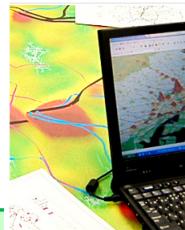


理論的枠組み



分析ツール

科学警察研究所



・犯罪予防研究室

犯罪未然に防止するための効果的な施策の立案に資するため、犯罪者・被害者・被害物、犯行の場や地域社会などの背景要因を統合した実証研究を行っている。最近の研究課題には、公共空間における子どもの被害防止に関する研究、犯罪傾向に応じた地理的犯罪分析手法の開発に関する研究、防犯対策が犯罪の発生と市民の行動に与える影響に関する研究などがある。

・地理的犯罪分析手法に関する研究

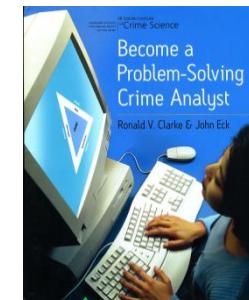


効率的で効率的な犯罪予防に資するため、GIS(地理情報システム)と統計解析を組み合わせて、いつどこでどのような犯罪が起っているかを分析している。

警察・学校・行政組織

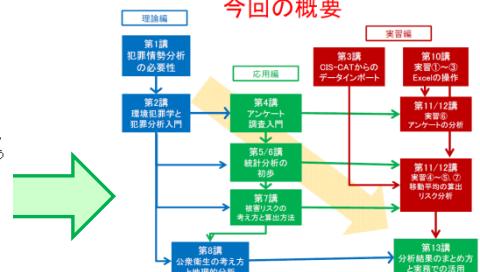


講義・講演



教科書・資料集

今回の概要



研修・実務
専科教養

松戸市の「見守り隊」発足式で講演 (2017/06/11)

「六実っ子安全安心見守り隊」説明会

2017/06/11

科学が支える 子どもの被害防止

原田 豊
科学警察研究所 特任研究官

2017/6/13

東京新聞:女兒殺害受け松戸で「見守り隊」発足 「活動大きく広がる」:千葉(ムラカミ・タツヤ・金)

東京新聞|TOKYO Web

【千葉】

女兒殺害受け松戸で「見守り隊」発足 「活動大きく広がる」

2017年6月13日

ベトナム国籍の松戸市立六実（むつみ）第二小三年のレエ・ティ・ニヤット・リンさん（9つ）が殺害された事件を受け、松戸市と同小のある六実・六高台地域の住民は十一日、地域横断的な防犯ボランティア「六実っ子安全安心見守り隊」を発足させた。地元の防犯協会の西原正博会長（68）は「情報が共有でき、見守り活動が大きく広がる」と思いを新たにしていた。

十一日に市立六実市民センターで開かれた見守り隊の説明会には、保護者や町会・自治会、防犯関係などの四十七団体、三百人が参加。最初にリンさんを悼んで黙とう。本郷谷健次市長が「地域のみんなで見守ることが一番大切。多くの人に入っていただき、活躍してほしい」と呼び掛けた。



講演もあり、警察庁科学警察研究所の原田豊特任研究官は「海外の最新研究で、犯罪予防では防犯カメラより、近隣の見守り活動のほうが効果は高い」と住民活動の重要性を強調した。

説明会後、市立六実中学の阿曾祐康校長（58）は「取り組みは大変ありがたい。学校の職員も活動に参加する」と話した。

事件では、六実第二小の元保護者会長で見守り活動にも参加していた渋谷恭正（やすまさ）被告（46）が殺人罪などで起訴された。地域住民、保護者が対策を話し合い、市も協力して見守り隊を発足させた。見守り隊は参加する各団体が、市に名簿を提出して隊員を登録。市から貸与された隊員カードを身につけ、子どもたちを見守る。（飯田克志）

▶ 東京新聞の購読はこちら 【1週間ためし読み】 【電子版】

関連記事ピックアップ



読むと赤面「共謀罪」答弁 「コッカイオンドク！」全国一斉実施

(2017年6月12日)



「加計学園ありき」の想定回答 民進が新たな文書入手

(2017年6月7日)



加計学園文書「確認できない」と「存在しない」異なる 文科省「ない」断言せず

(2017年6月8日)

Recommended by poplin

「加計」究明遅く 官房副長官「内容正しいかはその次」

(2017年6月10日)

トランプ氏「捜査手放せ」 前FBI長官証言へ

(2017年6月8日)

「共謀罪」崩れる政府根拠 「条約はテロ防止目的でない」

(2017年6月5日)

『犯罪の予防と犯罪者の社会復帰のために何が役立つか』(2016)

- ・「本書は、今まででもっとも広範にその科学的根拠を提供するもので、3,000以上の評価研究について検討した100以上のレビューに基づいている。」(p. 324)
- ・「(犯罪の予防や犯罪者の社会復帰に)役立つ施策や実践が存在するという、一貫した科学的根拠が見出された。」(同上)

Weisburd,D., Farrington,D.P. and Gill,C. (2016). What Works in Crime Prevention and Rehabilitation: Lessons from Systematic Reviews. Springer New York.

Springer Series on Evidence-Based Crime Policy

David Weisburd
David P. Farrington
Charlotte Gill *Editors*

What Works in Crime Prevention and Rehabilitation

Lessons from Systematic Reviews

 Springer

各種の犯罪予防・社会復帰プログラムの効果の比較

- 近隣の見守り活動の効果は、防犯カメラの効果より大きい

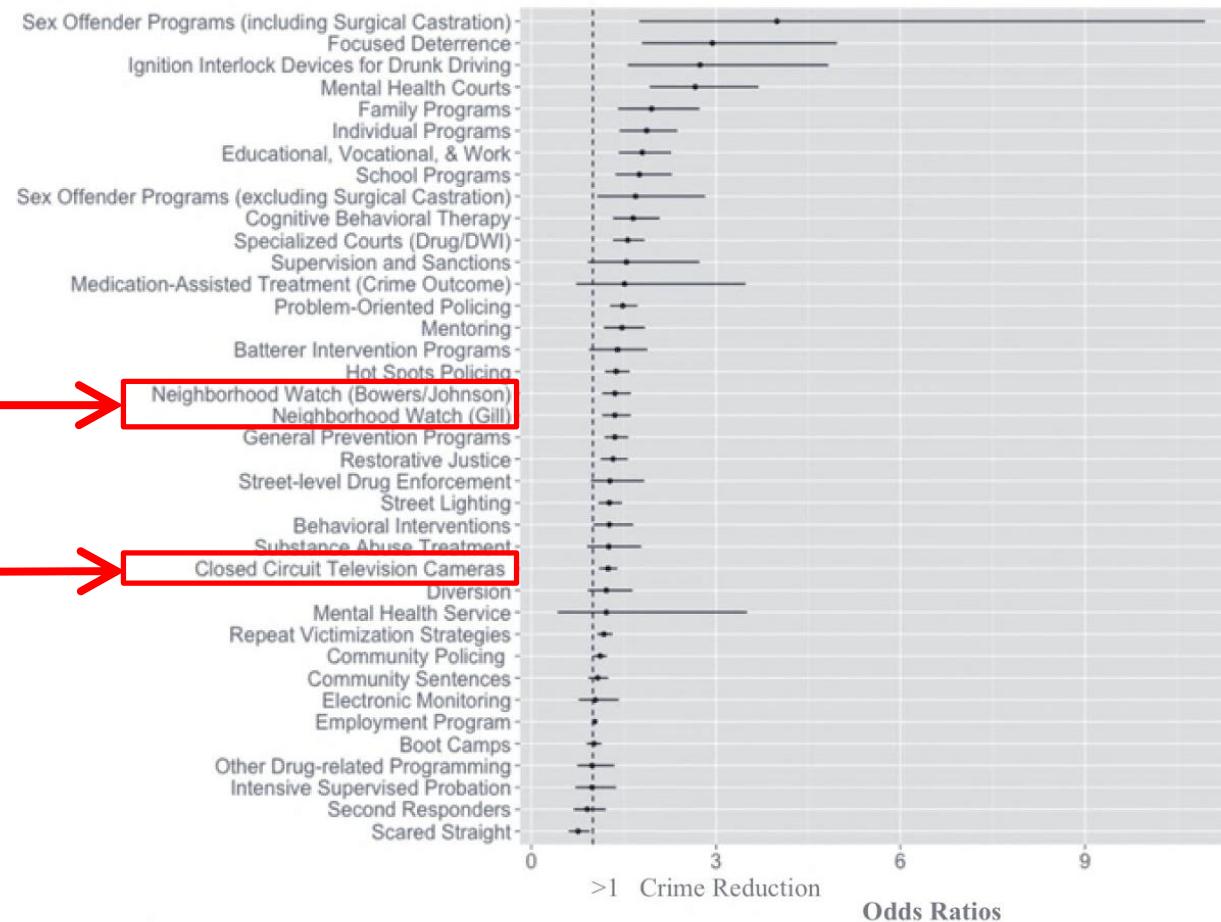


Fig. 12.1 Odds Ratios of Crime Prevention and Rehabilitation Programs

Source: Weisburd,D., Farrington,D.P. and Gill,C. (2016). What Works in Crime Prevention and Rehabilitation: Lessons from Systematic Reviews. Springer New York, p.317, Fig. 12.1

First Book Publication in Preparation

3. 『聞き書きマップ』の防犯力



『聞き書きマップ』で改善計画づくり [#絵・文再考？]

『聞き書きマップ』は、地域の安全を守る取り組みに、どのように役立つのでしょうか。本章では、このことについて、私たちが取り組みの現場で体験したエピソードなどを交えて説明します。

1

(1) 地域の環境改善の必要

事件や事故にあわないためには、子どもたち自身が「自分の身を守る」力をもつことが大切だとよく言われます。たしかにそのとおりだと私も思います。けれども、同時に、小さな子どもはとても弱い存在なのだということも、忘れてはならないと思うのです。

次ページの「コラム」をご覧ください。小学校1年生と大人の男性との体格の違いは、ふつうの日本人とヒグマとの違いくらい大きいのです。どんな知識や技を学んでいても、素手でヒグマと戦って勝てる人がいるでしょうか？

では、勝てるはずのない相手から身を守るには、どうするのでしょうか？いちばんいい方法は、そんな相手と「出会わない」ようにすることです。だから、柵を作ったり、「熊に注意！」の看板を立てたり、獣師さんたちがパトロールしたりするのです。

事件や事故を減らすためにも、これと同じ考え方方が大切です。危険と「出会わない」ように、子どもたちに身近な環境を改善するのです。これは、第2章で説明した「状況的犯罪予防」に通じる考え方です。

☆この続きで「日常活動理論」を説明（または復習）？

2

Looking Forward: the Quazi-Zenith Satellite System

Japanese satellite positioning system scheduled for year 2018

Source:
QZSS Service Inc.
Homepage

http://www.qzs.jp/en/ Quasi-Zenith Satellite S... Google™ Custom Search Japanese

Quasi-Zenith Satellite System (QZSS) Service

- Home
- Service Overview
- User Guide
- Technology
- Events
- Contact Us
- Company Information
- Related Links

Download PDF

Brochure (PDF)

Illustration (JPEG)

Leading the way towards a new society with QZSS

These days, in their everyday lives people confirm positions using signals from satellites, and also search for routes to their destinations. QZSS makes satellite positioning services even easier to use and more precise. This system can be used even in locations where positioning signals from satellites did not reliably reach in the past.

The environment related to satellite positioning services

Navigation functions—such as those used in car navigation systems, smartphones, and mobile phones—have come into widespread usage because they are very convenient. These convenient functions use positioning signals from satellites for satellite positioning services that make it possible to detect your current location. These services are also used in fields such as land surveying, disaster prevention, etc.

However, current satellite positioning services utilize GPS satellites operated by the United States. Due to reasons such as the small number of satellites in the field of vision, services have not always been offered in a stable way in all locations.

利用拡大に向けた提案：

- 「義務教育」を通じた準天頂衛星システムの利活用推進
 - ▶ 今後の世代の「すべて」の子どもに普及が可能
 - ▶ 子ども経由で親世代にも浸透
 - ▶ 方程式 = (宇宙教育+安全教育+地理教育) × 「体験学習」
- 「準天頂対応受信機」と『聞き書きマップ』で実現！
 - ▶ アクティブ・ラーニング



- ▶ 学校現場ではWindowsアプリ+単体受信機が唯一の選択肢！
- ▶ 子どもに使わせるからこそ「ジャパンクオリティ」が必要
- ▶ 「消耗品」で購入、「ランニングコストゼロ」を実現

東京都中小企業振興公社の助成事業に応募

研究開発の達成目標

申請 Web ID : SME0000372

申請テーマ (表紙と同じ)	準天頂衛星測位による野外調査支援ツール の開発
------------------	----------------------------

(1) 研究開発の概要を 400 字以内で簡潔に記載してください。

申請者らが開発した野外調査支援ソフトウェア『聞き書きマップ』を、平成 30 年度に本運用開始予定の準天頂衛星システム（QZSS）対応とする改良を行うとともに、専用の受信端末の試作機に設計・製造する。この端末機により、これまで市販の外国製 GPS ロガー・IC レコーダーおよびデジタルカメラで構成していたデータ記録用機器を、国産の専用端末に一体化し、操作性・信頼性を劇的に向上させる。これを学校教育現場に普及させるため、行政などが消耗品として購入可能な低コストの実現、維持経費が最小限となる設計・実装を開発目標の中核とし、端末側とパソコン側との負荷分担の最適化および互換性の確保を行なう。これらの HW・SW を文部科学省の「防災教育を中心とした実践的安全部門総合支援事業」のモデル校などの試験運用で評価し、初等中等教育の現場での持続的使用が可能となることを目指す。

(2) (1) の研究開発における技術開発要素の特長を「新規性」・「優秀性」の観点から記載してください。なお、記載事項は「研究開発の詳細」の新規性・優秀性に該当するもの

番号	新規性	番号	優秀性
新-1	国家政策である QZSS を用いた時刻同期	優-1	端末側・ソフトウェアの負荷省コスト化
新-2	音声データに QZSS の位置情報を付帯させることによる画像データとの紐づけ	優-2	位置・画像・音声のみで構成する QZSS の特徴は、野外調査など現地で紙にメモするかわりに、現地で紙にメモするかわりに、あとでそれを「聞き書きマップ」に記入して文字化することが可能になる。
新-3	QZSS 対応の新端末専用デバイスドライバによる現場 PC 環境の多様性の吸収と容易なカスタマイズ	優-3	本位の操作性

(3) (2) の新規性・優秀性がある技術開発要素について、それぞれの機能・性能目標を最大限に示してください。なお、番号は「研究開発の詳細」の新規性・優秀性の番号に対応させてください。

番号	技術開発要素	機能目標	性能目標	達成を証明する
新-1	QZSS による全データの時刻同期	測位、画像、音声データを絶対時系に合わせた情報一元化	測位、画像、音声データの時刻同期の誤差が 0.1% 以内	■仕様書 □図面 □設計書 □試験報告書 □写真 □その他 ()
新-2	連続音声情報と位置情報・画像情報の QZSS による紐づけ	連続音声の任意の箇所で写真撮影地点の特定が可能	24 時間までの連続録音が可能で、時間解像度 1 秒で測位情報・写真画像情報との紐づけが可能	■仕様書 □図面 □試験報告書 □写真 □その他 ()
新-3	QZSS 対応の新端末に特化したデバイスドライバの作製	汎用ユーティリティに依存しない新端末の直接駆動	端末からのデータ読み込み時のエラー発生率が 0.1% 以下	■仕様書 □図面 □試験報告書 □写真 □その他 ()
優-1	端末と PC ソフトの分担による未加工データの保存・伝送・圧縮	端末側は未加工でデータ処理、PC 側で最適フォーマット化処理	大容量 CPU・多機能 OS ベースの端末と比較し 50% 以下の低コスト化	■仕様書 □図面 □設計書 □試験報告書 □写真 □その他 ()
優-2	汎用部品の組合せによる専用回路構成	連続録音時に、位置情報、画像情報を付帯する機能	大容量 CPU・多機能 OS ベースの端末と比較し 60% 以下の省電力化	■仕様書 □図面 □設計書 □試験報告書 □写真 □その他 ()
優-3	端末・PC ソフトの自動連携プロトコル	PnP による一体型新端末の認識とデータ取り込み	端末データ取り込み時の操作数を従来の 1/5 以下に削減	■仕様書 □図面 □設計書 □試験報告書 □写真 ■その他 (使用マニュアル)

(4) (1) の研究開発全体の完了を証明するものを記載してください。

仕様書(必須) 評価報告書(必須) □図面 ■設計書 □写真 □その他()

補足

専門用語の解説（本助成事業において解説が必要な用語がある場合は記入してください）。

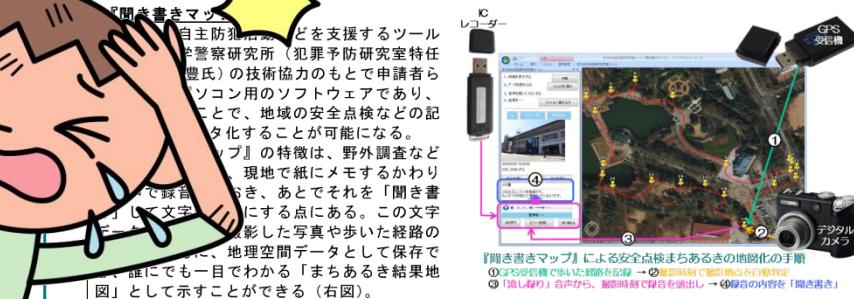
準天頂衛星システム（QZSS）

準天頂軌道の衛星が主体となって構成されている日本の衛星測位システムのこと、英語では QZSS (Quasi-Zenith Satellite System) と表記される。また、衛星測位システムとは、衛星からの電波によって位置情報を計算するシステムのこと、米国の GPS がよく知られているため、準天頂衛星システムが「日本版 GPS」と呼ばれることがある。

現在はその初号機 1 機だけで試験運用されているが、平成 29 年度に新たに 3 機の衛星が打ち上げられ、平成 30 年度から 4 機体制による 24 時間の本運用が開始される予定である。

さらに、4 機体制時は GPS など他の衛星を含めた測位システムを構築しているが、日本の衛星のみで持続的測位が可能なシステムを構築するため、平成 35 年度をめどに、7 機体制の実現を図る予定である。

http://qzss.go.jp/services/sv01_what.html



『聞き書きマップ』による安全点検まちあらきの地図化の手順

①GPS受信機でいたずら跡を記録 → ②監視映像で駆除點を右側に表示

③「塗り替り」音声から、駆除時間で緑色を塗り替へ → ④緑色の内容を「聞き書きマップ」に記入

教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業

は、文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課の所掌事業として、「児童生徒自らが、自然災害から身を守れるよう、防災教育を中心とした安全教育の指導方法や教育手法の開発・普及、含めた学校における児童生徒等の安全確保体制の構築・普及、学校外の専門家による指導・助言等を介し、社会における安全教育・安全管理の充実を図ることを目的として実施されているものである。

元来は、東日本再震災の発生を受け、平成 24 年度に「実践的防災教育総合支援事業」としてスタートしたが、平成 27 年度より、防災に加えて、防犯を含む生活安全や交通安全も含めて「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」に改編され、平成 28 年度には 44 の道府県・政令都市で実施された。

https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/torikumi/bousaikyouiku/h27_gairyaku.pdf

申請者らは、平成 27 年度から千葉県における本事業（防犯を含む生活安全に関すること）の支援を続けており、平成 29 年度は、成田市立向台（むこうだい）小学校をモデル校とする取り組みの支援を行う予定である。本年 11 月ごろに実施予定の同校での通学路安全点検の際に、本研究開発で作製する QZSS 対応版の『聞き書きマップ』と受信端末の現地での試験評価を行う計画である。

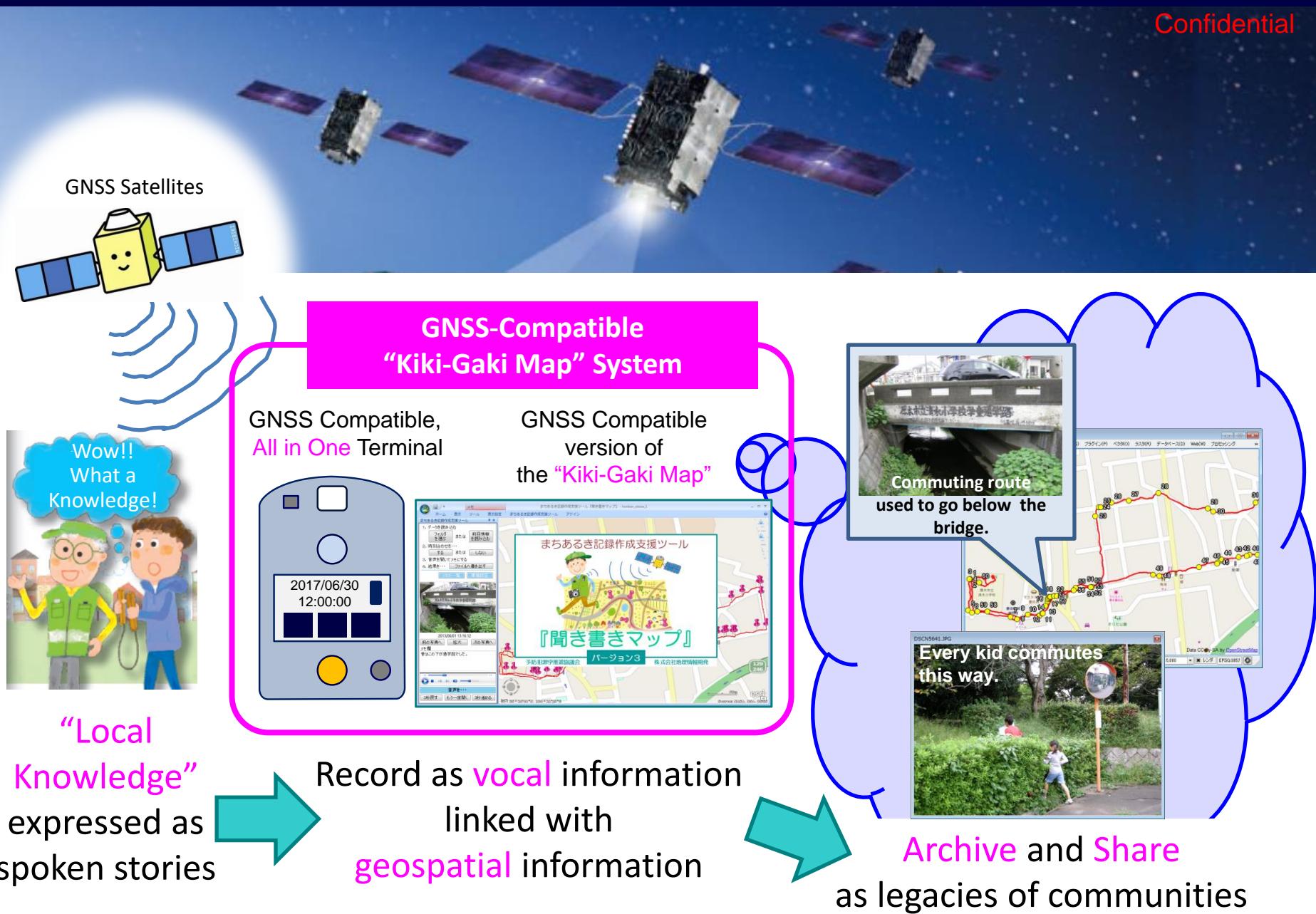
環境復元ソフトウェア

学校教育現場に設置されたパソコンは、不特定多数のユーザーが使用するため、個々のユーザーによる勝手な設定変更やシステムファイルの削除のほか、誤って不正目的のプログラムがインストール・実行されるなどの危険にさらされている。この問題に対処するため、再起動するだけで設定変更などの変更点を自動的に元の状態に復元するソフトウェア製品が多数市販されており、ほとんどの学校で導入されている。

これらのソフトウェアは、製品ごとにその拳動が異なるため、『聞き書きマップ』などのソフトウェアの導入の際にしばしば予想外の問題を引き起こす。したがって、主要な製品についてその機能や特徴を調査し、可能な限り汎用的に問題を回避できるようにする必要がある。

Archiving “Local Knowledge” Using GNSS Technology

Confidential



Submission for GISA 2017 Annual Meeting

GISA2017 Submission x

保護された通信 | https://easychair.org/conferences/submission.cgi?a=15569491;submission=3400262;submitted=1;track=190004

GISA2017 (author) GISA 一般社団法人 地理情報システム学会 Help / Log out

New Submission Submission 57 GISA2017 Support News EasyChair

GISA2017 Submission 57

The submission has been saved!

Paper 57

Title:	準天頂衛星システム対応版『書き書きマップ』の設計 書き書きマップ ("Kiki-Gaki Map") 準天頂衛星システム (Quasi-Zenith Satellite System: QZSS) 地理教育 (geography education) アクティブ・ラーニング (active learning) 安全教育 (safety education)
Author keywords:	
Topics:	データ取得, 安心・安全, 教育, 自治体
Abstract:	先行研究で開発した野外調査記録作成支援ソフトウェア『書き書きマップ』（原田ほか 2011, 2013, 2015）の学校教育現場などへの普及を図るために、準天頂衛星システムに対応した単一の端末装置と組み合わせて使用する、新たなバージョンの設計を行った。安価に出回っているスマートフォン用パーツを活用し、ハードウェア側とソフトウェア側とで負荷分担を最適化することにより、学校現場などの現有パソコンと、消耗品として購入可能な持ち歩き用端末装置とによる、準天頂衛星システム対応版『書き書きマップ』の実現の見通しが得られた。
Time:	Jul 13, 06:20 GMT
Address:	6-3-1 Kashiwanoha Kashiwa, 277-0882 Japan
発表の種類を選択してください	講演・ポスター発表
修士号の有無	
著作権譲渡契約	一般社団法人地理情報システム学会著作権規定第2条の定めにより、投稿する論文（アブストラクトを含む）の著作権を学会に移転することを承諾します。

Authors

first name	last name	email	country	organization	Web page	corresponding?	speaker
豊	原田	harada@nrips.go.jp	Japan	科学警察研究所		✓	✓

Copyright © 2002–2017 EasyChair

“Shimin Anzen Gakkai” Meeting in Toyama

Will leave for Toyama
TONIGHT!

第14回 日本市民安全学会全国大会

世代を超えて安全・安心を考える! in 富山



環境・安全・安心・健康 暮らしからのアプローチ



2017年7月15日(土) 13:00~17:00

会場 ▶ パレブラン高志会館 / 定員 ▶ 500名 / 入場無料

申し込み方法 ▶ 事前登録制 (入場には受講券が必要)

詳細は、日本市民安全学会HPでご案内しています：www.shimin-anzen-gakkai.org/



大変化時代の「世代を超えた市民安全のかたち」

日本市民安全学会会長 石附弘氏

基調
1
通学路(交通事故)
ビジョンゼロ戦略(新潟市事例)
埼玉大学教授 久保田尚氏

基調
2
コンパクトシティ戦略による
とやま型都市経営の構築
富山市長 森雅志氏

主催／日本市民安全学会

後援／富山市(助成事業)

警察政策学会 市民生活と地域の安全創造研究部会・(公財)交通事故総合分析センター・全国説教防犯協力会・全日本教職員連盟
(公財)富山県交通安全協会・(公財)富山県防犯協会・(公財)富山県暴力追放推進センター・(公社)とやま被害者支援センター
(一社)富山県安全運転管理者協会・(社福)富山市社会福祉協議会・富山県警友会・富山市交通指導員連絡協議会・富山市保護司会
青少年育成富山市民会議・富山市補導委員連絡協議会・富山県保護司会連合会・富山県説教防犯協力会(東部地区)・KK映学社
(一社)生涯学習支援機構・富山県教職員協議会・YKK AP株式会社・日本セーフティプロモーション学会・北日本新聞など

Giving the Outcomes Back to Society

- Website “Prevention of Childhood Victimization based on Scientific Research”
- Give back to the grass-root efforts for protecting children:
 - Scientific and easy-to-understand **theory** and
 - User-friendly **tools**
 - **For free** (at least for end users)
- Currently managed by:
“Council for the Promotion of Preventive Criminology (CPPC)”

Skre.jp 科学が支える子どもの被害防止



訪問者 000106624 人目

子どもの日常行動調査マニュアル 危険なできごと調査マニュアル

マニュアルの最新版はこちら

まちあるき記録作成支援ツール 『聞き書きマップ』

理論を知る 被害を知る子どもを知る 情報を分析する 対策を考える

お知らせ

Skre.jpからのお知らせ

2017/03/25 地理空間情報活用推進基本計画（第3期）が閣議決定されました。

昨日（3月24日）付けで、国の「地理空間情報活用推進基本計画（第3期）」が閣議決定されました。

その第22ページに、つぎの記述があります。

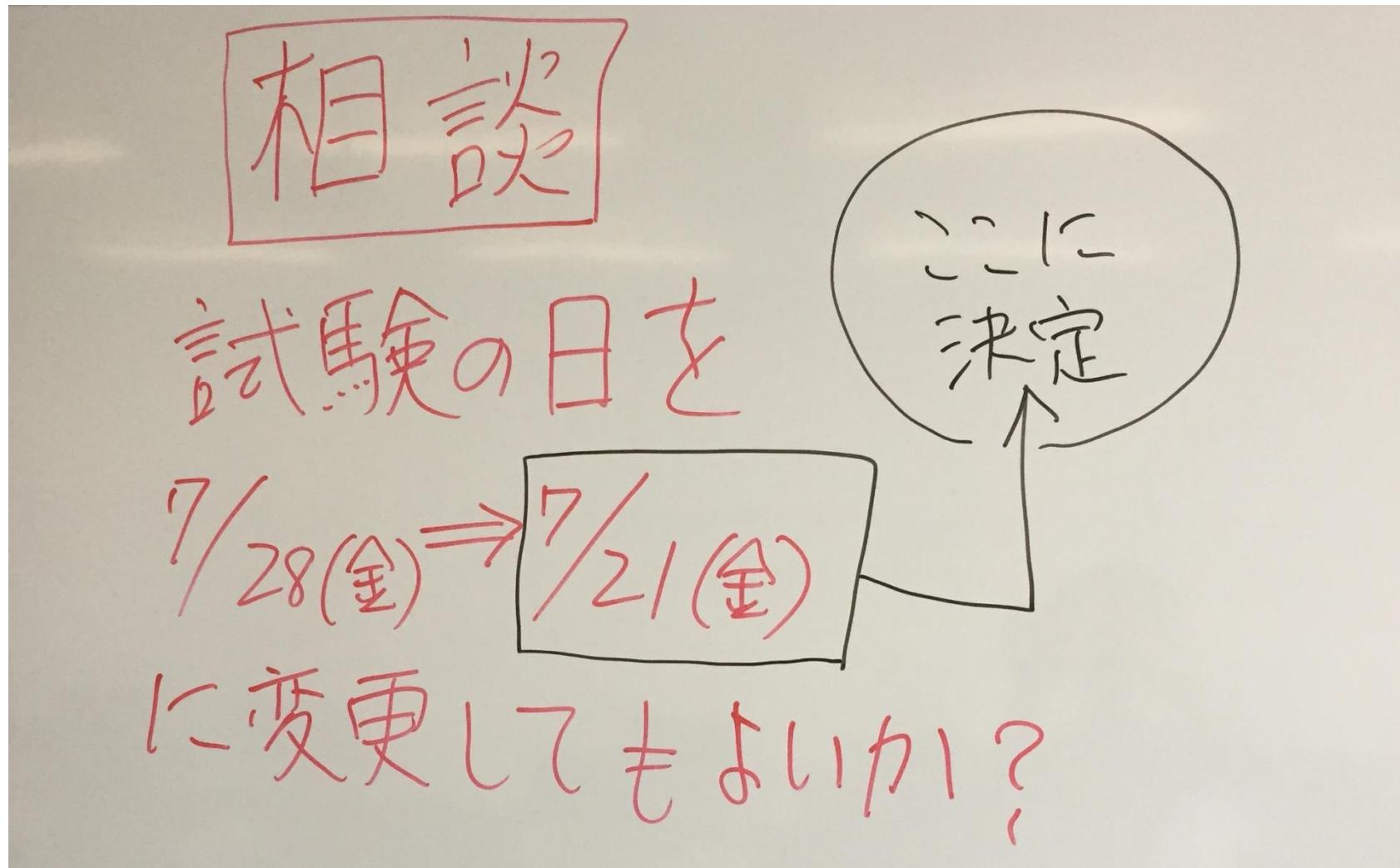
「また、GISの活用により、犯罪を未然に予防し、被害の拡大を防止するため、犯罪の時空間的な集積・変化の分析手法、犯罪抑止対策の評価手法、防犯活動の支援手法の開発を行うなど、事業対処手法の高度化・防犯活動の支援を促進する。」

「犯罪の未然防止」や「防犯活動の支援」などを促進すべきことが、このような国的基本計画に盛り込まれたのは、画期的なことだと思います。

CPPC
予防犯罪学推進協議会
Council for the Promotion of Preventive Criminology

<http://www.skre.jp/>

Important: Exam. Date Is Changed!



Exam. will be on July 21, 2017 (in class)